

生きる意味を発見し合える道場

西和賀町に暮らして三度目の冬がやってきた。豪雪に対する心構えや実際の対応も、それなりに身につけてきたのではないかと自分では思っている。

この豪雪地で生き抜いてきたお年寄りや日々関わる中で、いつもどこか空気に「忍耐力」と「ユーモア」が漂っているような気持ちにさせられることが多い。様々な苦難や歓喜を味わい、現在の状況に至ったお年寄りから滲み出てくる逞しさ。また、どんな局面でも自然と内から湧いてくるユーモラスな一面は、我々の気持ちをふと救ってくれる瞬間を生み出してくれる。



特別養護老人ホーム 光寿苑

介護職員 小泉 岳央

人間はあくまで動物であり、年老いていくということは赤子の反対に行くように、生命維持に必要な機能以外は段々と削られていくということだと今更ながら知った。

しかし、相手には人格があり、長く尊い人生を歩まれてきた方々である。人間同士、互いの立場を尊重しながら、今この方にとって必要なものと不必要なものはないだろうか、と真剣に議論する事は欠かすことができない。

「生きる意味を発見し合える道場」として36年。長い歴史の中で、常に変わっていく時代や状況に対応し、変革を試みるその一隅に自分も在ると言うことを考えると、やりがいを感じる。また、だからこそ自分に今出来ることを、誠心誠意行うのが務めであり、行動指針でもあるのだと襟を正している。

「看取る」ということについても、この職場に就いて改めて学ばせていただいている。今までよりも少し、死と自分の距離が近付いた感じがした。

働くという行為に対して、対価は貨幣のみでも良いのではないかと、と捉え直すような時期も自分の中であつた。しかし、やはり人と深く接する仕事に就いてみて感じる魅力は、お互いに与え合うものがある、ということである。こんなちっぽけな自分でも、誰かの役に立つて喜んでもらえるという事実があり、逆に社会的には誰の役にも立たなくなつたと感じているお年寄りから、僕らは与えられるもの、受け取るものが十二分にある、という相互関係にこそ、この仕事の魅力は詰め込まれているのだと思う。

人と人とが交わり合うという根本的な関係性を改めて意識し大切にしながら、僕らの知らない時代を生きてきたお年寄りから色んな事を学んでいきたいと感じている。

直行便

公益財団法人岩手県福祉基金助成事業 (平成27年度事業)のご案内

公益財団法人岩手県福祉基金では、平成27年度の助成事業の申請を受け付けています。

<助成対象者>

- ①社会福祉法人及び社会福祉の向上を図るために設立された公益法人、非営利活動法人並びに社会福祉を目的として組織された団体
- ②社会福祉を目的とする公益法人等が経営する社会福祉施設

<助成概要及び対象事業>

■「社会福祉活動に対する助成」

地域福祉及び在宅福祉活動の増進等、社会福祉の向上を図るために行う福祉活動への助成（①研修会・大会開催事業、②広報・会報発行事業等）

■「社会福祉施設整備事業に対する助成」

他制度の助成対象とならない次の整備事業への助成

- ①社会福祉施設を拠点とした、公的制による地域福祉活動・在宅福祉活動に必要な機材や器具の整備（施設改修や施設整備を除く）
- ②利用者の危険防止のための修繕や施設整備

■「社会福祉従事者研修に対する助成」

社会福祉従事者に対する研修事業への助成

■「社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成」

福祉教育活動、社会福祉の啓発事業及び社会福祉関係者に対する顕彰などの事業への助成

<助成限度額>

当該事業費の90%以内で、上限300万円。ただし、「社会福祉活動に対する助成」については、応募団体の規模に応じて別に定める額

<助成要望書提出期限>

平成27年1月14日（水）

●問い合わせ先

公益財団法人岩手県福祉基金事務局
（岩手県社協 総務部）電話 019-637-9614

子育て講演会の開催について

県社協では、子育て中のお母さん達から人気の「子育てハッピーアドバイス」の著者で医師の明橋大二先生を講師に迎え、子育て講演会を開催します。

●日時 平成27年1月25日（日）
13：00～15：00

●会場 ふれあいランド岩手 ふれあいホール

●テーマ「家族みんなが笑顔になれる
子育てのコツ」

●講師 明橋 大二 先生

（真生会富山病院 心療内科部長）
※「子育てハッピーアドバイス」の著者

●参加費 無料 ※託児コーナーを用意しております。（有料）

●定員 180名（定員になり次第締め切ります）

●申し込み 事前にFAXで申し込みください。

●問い合わせ先・申込み先

岩手県社会福祉協議会福祉経営支援部
電話：019-601-7023



岩手県社会福祉協議会
ホームページアドレス

<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>

福祉についての最新情報や詳しい情報は
ホームページをご覧ください